

(HP公開様式)

政務活動費の調査研究に係る海外調査、宿泊を伴う県外調査の概要

1 題目：地域包括ケアシステムの深化と小規模自治体立病院の運営状況

2 調査報告概要

調査者 会派名等	[会派名、調査者全員の氏名] 自民党誠心会 遠藤浩 市川三郷町長 久保眞一氏
調査内容	1 調査目的 1. 地域包括ケアシステムの先進地視察 2. 小規模自治体立病院の建設と運営状況  2 調査テーマ 1. 地域包括ケアシステムの現場調査 2. 小規模自治体立病院の建設と運営  3 調査期間 平成 30年 6月 20日～平成 30年 6月 21日 (1泊2日)  4 調査地 [海外→国名・都市名]・[国内→都道府県名・市町村名] 1. 千葉県柏市 2. 福島県双葉郡富岡町  5 その他

### 3 調査テーマ毎の調査項目と選定理由

<p>[調査テーマ]</p> <p>1. 地域包括ケアシステムの現場調査</p>	<p>[調査項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括ケアシステムの現場調査</li> </ul> <p>[選定理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 地域包括ケアシステムの深化は本県福祉行政の大きな課題だ。先進地の現場での取り組み内容を調査し本県の包括ケアシステムの進化に寄与したい。</li> </ul>
<p>[調査テーマ]</p> <p>2. 小規模自治体立病院の建設と運営</p>	<p>[調査項目]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 小規模自治体立病院の建設と運営</li> </ul> <p>[選定理由]</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>・ 県下の自治体立病院の運営状況は、必ずしも良好とはいえない。自治体財政を圧迫している現実がある。それらの対応策を研究する。</li> </ul>

4 調査項目に係る調査都市・施設・担当者等の選定

調査項目	都市（市町村）名・施設名・担当者名及び選定理由
地域包括ケアシステムの現場調査	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]                      柏市地域医療推進課専門監 [REDACTED]</p> <p>[選定理由]                      山梨県看護師協会からの紹介</p>
小規模自治体立病院の建設と運営	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]                      福島県ふたば医療センター附属病院副院長 [REDACTED]</p> <p>[選定理由]                      4月23日に開業したばかりの小規模病院</p>
	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>[選定理由]</p>
	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>[選定理由]</p>
	<p>[都市（市町村）名・施設名・担当者名]</p> <p>[選定理由]</p>

5 調査内容-1

- 調査テーマ：(1. 地域包括ケアシステムの現場調査)

調査項目	地域包括ケアシステムの現場調査		
調査都市等	千葉県柏市「柏地域包括連携推進センター」	調査日	6/20日
調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>市職員であっても包括ケアシステムについての理解度が乏しかった。アンケート結果が推進の切っ掛け。</li> <li>柏市、東京大学、UR都市機構の3者協定が原動力。</li> <li>柏地域医療連携センターは、柏市医師会、柏歯科医師会、柏市薬剤師会の共同で建設。(2階建て1000㎡)</li> </ul>		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
遠藤浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>地域包括ケアシステムの深化には多職種連携は欠かせない。拠点の必要性和民意の当事者意識。</li> <li>在宅医療推進に負担軽減のバックアップシステムを確立。</li> <li>広報紙や講演会など啓発活動で市民への発信。</li> <li>地域医療連携センターに総合相談窓口を開設、ハードルを下げる。</li> <li>本県での順応性も考慮して議員活動に展開していく。</li> </ul>

※調査テーマ毎に作成

5 調査内容-2

- 調査テーマ：(2. 小規模自治体立病院の建設と運営)

調査項目	小規模自治体立病院の建設と運営		
調査都市等	福島県ふたば医療センター附属病院	調査日	6/21日
調査結果概要	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 東海村原発に近く 14000 人余りの人口が 500 人ほどとのこと。住民の帰還や復興従事者への対応が建設趣旨。</li> <li>・ 前個室 30 床で、男女別室や患者同士のトラブル回避には有効。</li> <li>・ 常勤医 1 人、他派遣による非常勤委だが日中 4~5 人、夜間 2 人の診療体制を目指す。</li> <li>・ 施設整備費は、24 億円 (本体 18 億円) で地域医療再生基金を活用。</li> </ul>		

○各参加者の所感及び調査結果の活用方針

議員氏名	所感及び活用の考え方
遠藤浩	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 前個室 30 床の病床数は小規模病院においては有効だ。</li> <li>・ 診療科目も救急科と内科、常勤医 1 人のスリムな診療体制だ。</li> <li>・ 建設は、大手ハウスメーカーだが、細部まで行き届き格安感を感じた。</li> <li>・ 地域包括ケアシステムを医療面から支える推進体制を構築する。</li> <li>・ 本県においても医療提供体制の脆弱な地域においては 2 次医療の整備体制として病院の小規模化も方法の一つ。</li> <li>・ 本県での順応性も考慮して議員活動に展開していく。</li> </ul>

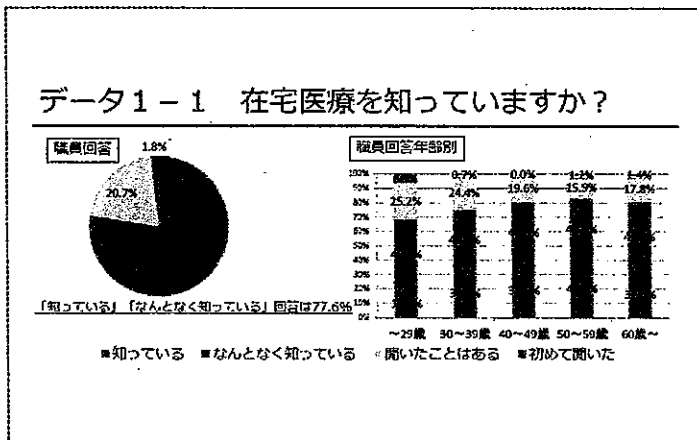
※調査テーマ毎に作成

6 調査状況（写真）-1

○ 平成 30 年 6 月 20 日 調査先（千葉県柏市「柏地域包括連携推進センター」）



- 都市再開発を柏市、東京大学、UR 都市機構の 3 者で推進している一角に包括ケアシステムの拠点「柏地域医療連携センター」はある。



- 地域包括ケアシステムを取り組むきっかけとなった市職員へのアンケート調査結果。

6 調査状況 (写真) -2

○ 平成 30 年 6 月 21 日 調査先 (福島県ふたば医療センター附属病院)



- 
- 主要機能は平屋なので広く開放感がある建物。
- 



- 
- 開業 2 か月と間もなく、帰還住民も僅かなので患者は少ない。
  - 1F の床面積は約 3000 m<sup>2</sup>で、広く明るい。
-